

日本GH協 ニュース

公益社団法人日本認知症グループホーム協会 2014.8.5 第10号

「介護報酬改定等に関する要望書」を 厚生労働大臣に提出！

7月31日、河崎会長、下田副会長、宮長副会長、村川常務理事は、田村憲久厚生労働大臣に面会し、「介護報酬改定等に関する要望書」を提出しました。

また、同日、厚生労働省の三浦公嗣老健局長に老健局長、社会保障審議会介護給付費分科会長宛「介護報酬改定等に関する要望書」を提出しました。



左から村川常務理事、宮長副会長、北川イツセイ参議院議員、厚生労働省三浦公嗣老健局長に要望書を手渡す河崎会長、田村憲久厚生労働大臣、河崎会長、下田副会長

【要望事項】

1. 認知症グループホームの基本報酬の増額を要望します。
2. 介護報酬の加算を実効あるものとするため、加算額、加算の要件を認知症グループホームの実態に即して改善されるよう要望します。
3. 認知症グループホームの経営基盤を安定させ、より良質な介護を実現させる観点から、ユニット数の複数化の機会を与えて頂きたい。また、オレンジプランに則した認知症グループホームの整備目標を、自治体の第6期介護保険事業計画に盛り込むよう指導・要請されることを要望します。
4. 地域包括ケアシステムを支える介護人材の確保と資質向上のための財源の確保を要望します。
5. 地域包括ケアシステムにおける認知症グループホームの役割強化のための財源の確保を要望します。

※厚生労働大臣には重点項目として要望事項1. 2. 3を要望

※ 協会からのお知らせ

要望書の全文は協会ホームページよりご確認ください。

* 連絡先 Tel 03-5366-2157 Fax 03-5366-2158 E-mail info@ghkyo.or.jp

協会ホームページ <http://ghkyo.or.jp/home>

